

## 地域密着型サービスの整備等に関する調査について

## 調査の目的

本調査は、現在、あきる野市介護保険推進委員会において、今後、増加が予想される認知症高齢者や一人暮らし高齢者への在宅での支援に向け、地域密着型サービスの整備について検討しており、本委員会での基礎資料とするため、「地域密着型サービスの整備に関する調査」としてアンケートを実施した。

## 調査の方法

- 【実施期間】 平成31年3月18日から平成31年4月5日まで
- 【調査基準日】 平成31年1月1日
- 【調査方法】 郵送による自記式調査
- 【調査対象者】 市内の居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所並びに市内で介護サービスを提供する法人

## 配布・回収の状況

アンケート種類	配付数	有効回収数	回収率
居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所向け	24	16	66.7%
法人向け	55	35	63.6%

## 地域密着型サービスの整備に関する調査票（結果） （居宅介護支援事業所 及び 介護予防支援事業所向け）

（事業所について）

問1 貴事業所について、ご記入ください。

調査数	24
回答数	16
回答率	66.7%

（ケアマネジャーについて）

問2 現在（平成31年1月1日）、貴事業所では、何人のケアマネジャーがいますか。

	人 数
常 勤	48
非常勤	5
合 計	53

（居宅サービス計画作成数について）

問3 現在（平成31年1月の1ヶ月間）、貴事業所の居宅サービス計画作成数はいくつですか。

	件 数
あきる野市内・あきる野市外を含めた、全作成数	1,064
上記のうち、あきる野市の被保険者作成数	999

（居宅サービス計画の対応体制について）

問4 利用者から新たに居宅サービス計画の作成依頼があった場合の対応体制は、現在、どのような状況ですか。

	事業所数	割合
十分対応できる	8	50.0%
若干であれば対応できる	6	37.5%
現状で手一杯の状況である	1	6.3%
現状でも対応が困難な状況である	0	0%
回答なし	1	6.3%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない。

(認知症高齢者について)

問5 現在(平成31年1月1日)、貴事業所で受け持っている利用者の中で、認知症高齢者の方や認知症高齢者と思われる方はいますか。また、「(1) いる」の場合、何人いますか。

	事業所数	人数
いる	14	457
いない	2	

(一人暮らし高齢者について)

問6 現在(平成31年1月1日)、貴事業所で受け持っている利用者の中で、一人暮らしの高齢者はいますか。また、「(1) いる」の場合、何人いますか。

	事業所数	人数
いる	15	222
いない	1	

(高齢者だけの世帯について)

問7 現在(平成31年1月1日)、貴事業所で受け持っている利用者の中で、高齢者だけの世帯はいますか。また、「(1) いる」の場合、何世帯いますか。

	事業所数	世帯数
いる	15	225
いない	1	

(家族の支援が困難な世帯について)

問8 現在(平成31年1月1日)、貴事業所で受け持っている利用者の中で、同居する家族(配偶者、子等)が何らかの理由(障がい等)により、高齢者を支援することが困難な世帯はありますか。また、「(1) ある」の場合、何世帯ありますか。

	事業所数	世帯数
いる	14	70
いない	2	

(地域密着型サービス利用希望について【本人・家族】)

問9 現在、貴事業所で受け持っている利用者の中で、利用者や利用者の家族から、地域密着型サービスを利用したいとの希望がありますか。

また、「1. 利用している・利用希望がある」の場合、何人いますか。

地域密着型サービスの種類	利用・利用希望	事業所数	人数
(1) 地域密着型通所介護 (定員18人以下の小規模デイサービス)	利用している	15	145
	利用希望がある	3	9
	利用希望なし	1	
(2) 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	利用している	1	1
	利用希望がある	2	2
	利用希望なし	14	
(3) 認知症対応型通所介護 (認知症高齢者専用のサービス)	利用している	10	20
	利用希望がある	2	2
	利用希望なし	5	
(4) 地域密着型介護老人福祉施設入 所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム)	利用している	0	0
	利用希望がある	2	2
	利用希望なし	14	
(5) 小規模多機能型居宅介護 (通いを中心に訪問や泊まりを提供)	利用している	0	0
	利用希望がある	3	4
	利用希望なし	13	
(6) 地域密着型特定施設入居者生活 介護 (小規模有料老人ホーム)	利用している	0	0
	利用希望がある	2	2
	利用希望なし	14	
(7) 夜間対応型訪問介護 (定期巡回訪問、通報によるオペレー ションサービスを組合せた訪問介 護)	利用している	0	0
	利用希望がある	3	7
	利用希望なし	13	
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介 護看護 (日中・夜間を通じ訪問介護と訪問看 護を一体的、又は密接に連携し提供)	利用している	0	0
	利用希望がある	2	6
	利用希望なし	14	
(9) 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護のサービ スに加え必要に応じ訪問看護を一体的 に提供)	利用している	0	0
	利用希望がある	2	2
	利用希望なし	14	

(地域密着型サービス利用希望について【事業所】)

問10 貴事業所として、現在、居宅サービス計画に位置づけている人以外で、新たに居宅サービス計画として位置づけたい方がいますか。計画に位置づけたい方がいる場合、その人数をお答えください。併せて、その理由もご記入ください。

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人数
(1) 地域密着型通所介護 (定員18人以下の小規模デイサービス)	1. 計画したい方がいる	6	15
	2. 計画したい方がいない	10	
理由(1. 計画したい方がいる) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元で知っている顔と出会うと安心するため。</li> <li>・本人も家族もデイサービスを希望しているが、本人が施設見学後に気が変わり、サービスにつながっていない。</li> <li>・老老介護で、介護者による支援が必要であるため。</li> </ul>			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人数
(2) 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	1. 計画したい方がいる	4	6
	2. 計画したい方がいない	12	
理由(1. 計画したい方がいる) <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居で認知症で在宅生活が限界であるため。</li> <li>・同居の息子が非協力的で、娘も負担になっている。徐々にごみ屋敷化してきているため、朝、夕、デイの休みの日に食事ができているか心配である。</li> <li>・身体能力は保たれているが、認知症の進行がみられる。独居や介護者も認定を受けていることを考慮すると、今後の進行により必要と考える。</li> <li>・独居で、度々、外出先から自宅へ戻れず、保護されている。</li> <li>・グループホームが少ない。認知症高齢者が増えているので、入所できると安心である。</li> </ul>			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人数
(3) 認知症対応型通所介護 (認知症高齢者専用のサービス)	1. 計画したい方がいる	5	6
	2. 計画したい方がいない	11	
理由(1. 計画したい方がいる) <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居で朝夕の介護が必要な方のため、日中が不安なので通ってもらいたいが、限度額がギリギリで計画を位置づけられていない。</li> <li>・複雑な認知症の症状が表れてきている方には、より理解と適切な援助を期待したいと思うから。</li> </ul>			
理由(2. 計画したい方がいない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護事業所においても、認知症の方の受入れをしてもらっているので、今のところ大丈夫であると考えている。</li> </ul>			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人数
(4) 地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム)	1. 計画したい方がいる	3	3
	2. 計画したい方がいない	13	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・自宅が古く、段差も多いため、自宅での在宅継続は不可能と家族が判断し、現在、施設を探しているため。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人数
(5) 小規模多機能型居宅介護 (通いを中心に訪問や泊まりを提供)	1. 計画したい方がいる	3	4
	2. 計画したい方がいない	13	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・娘と二人暮らし。介護者の娘が不定期で夜勤となる時に泊りのサービスを希望しているため。 ・グループホームの前段階としての利用を考えている。 ・認知症進行中の独身者であり、今後の在宅生活を可能な限りに維持するための多目的支援に有効と思えるから。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人数
(6) 地域密着型特定施設入居者生活介護 (小規模有料老人ホーム)	1. 計画したい方がいる	1	1
	2. 計画したい方がいない	15	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・自宅が古く、段差も多いため、自宅での在宅継続は不可能と家族が判断し、現在、施設を探している。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人数
(7) 夜間対応型訪問介護 (定期巡回訪問、通報によるオペレーションサービスを組合せた訪問介護)	1. 計画したい方がいる	5	8
	2. 計画したい方がいない	11	
理由 (1. 計画したい方がいる) ・認知症独居で、脱水や熱発で救急搬送を数回されているため。 ・家族は市外に在住の高齢世帯で、夜間の介護支援が必要で、家族が泊まりながら介護をしている。 ・夜間の排せつ介助が必要な方がいる。 ・夜間の排せつ介助があれば、介護者の負担軽減になる。			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(8) 定期巡回・随時対応型訪問 介護看護 (日中・夜間を通じ訪問介護と訪問 看護を一体的、又は密接に連携し 提供)	1. 計画したい方がいる	6	11
	2. 計画したい方がいない	10	
理由 (1. 計画したい方がいる) <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢で認知の世帯で、夫に難病があり、不調があっても手伝えることができないため。</li> <li>・重度者急変もあり、家族も離れて暮らしている。</li> <li>・夜間緊急時に一人暮らしや老老世帯に対応してもらえると、家族は安心であるため。</li> <li>・医療のニーズが必要な方(痰吸引等)がいる。</li> <li>・認知症による判断力が低下した方がいる。</li> </ul>			

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数	人 数
(9) 看護小規模多機能型居宅 介護 (小規模多機能型居宅介護のサー ビスに加え必要に応じ訪問看護 を一体的に提供)	1. 計画したい方がいる	4	5
	2. 計画したい方がいない	12	
理由 (1. 計画したい方がいる) <ul style="list-style-type: none"> <li>・頸椎損傷にて、首から下にまひが残り、就寝介護を行うも、夜間に不調の訴えがある。</li> <li>・認知症高度、寝たきり状態により、自宅での入浴困難、食事介助、終日おむつ対応している。褥瘡ができやすく、心疾患もあることなどから、現在、訪問看護とショートステイを利用しているが、介護者の負担が増大している。</li> <li>・脳梗塞により麻痺もあり、生活サービスのほか、多くのサービスが入っている。生活リズムも悪く、自己管理ができないが、自宅での生活を強く希望している。</li> </ul>			

(地域密着型サービスについて)

問 1 1 地域密着型サービスや総合事業などについて、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

- ・総合事業（訪問介護）の場合、高齢者の体調の変動に対応する必要があることを踏まえると、るのヘルパーを導入することが難しい。（るのヘルパーでは、判断がつかない場面もある。）
- ・一般介護予防事業が少ないことと、その場に行くまでの交通手段も少ない。
- ・必要な時に地域密着型サービスが利用できず、他のサービスにて対応せざるを得ないことがある。
- ・雨戸の開閉やゴミ出しが行えない方が見られる。ごみの収集方法や近隣の方の協力を得ながら、高齢世帯のみだけでも安心して暮らせる環境が作れればと思う。
- ・地域密着型サービスは、少人数で利用ができ、慣れていただくと安定されてよいと思います。
- ・地域密着型サービスについて、認知症、中重度要介護高齢者の増加が見込まれる中、介護者も高齢化していくことが予測されている。そのような状況でも、住み慣れ、親しんだ環境で、生活を続けていくために、医療・介護・生活支援が包括的に確保される体制整備が必要である。
- ・総合事業（要支援者等）について、通所リハビリの受入れが難しくなっている実情がある。介護予防での通所リハビリの希望は多いと思う。
- ・地域密着型通所介護について、定員が 18 人以下というだけで区分けが異なるのはどうなのか。（国が決めたことだが）運営推進会議の開催などが大変である。
- ・「特養の有効活用について」  
あきる野市に特養が 13 施設あり、それぞれは専門職種（相談員・栄養士・看護師・看護職員等）の集団であり、その能力を地域に向けて発信することができれば、地域住民にとっては、身近な相談場所ができ、より身近になると考える。
- ・「買い物難民について」  
独居・老老介護・身体機能低下等の理由で買い物が地域により困難な場所も出てきている現状もあり、様々な食材購入の手段はあるものの、選ぶ・購入するなど生活習慣の継続のために、通所サービスの拠点に商品を並べ選ぶことができないかを考えるところである。



(あきる野市の在宅サービスについて)

問12 現在、あきる野市の在宅サービスの中で、不足していると思うサービスがあれば、サービス名とその理由を記入してください。

サービス名	理由
訪問介護	主に西部地区への派遣のため。
	全体的に人手不足、人材不足している。(同意見、外1件)
	土、日、祝、夜間、早朝のヘルパーが少ない。
訪問診療	主に西部地区への派遣のため。
夜間対応型訪問介護	介護者の負担軽減のため。
	事業所がない。独居の高齢者が多いため、ニーズはある。
	定期的におむつ交換が必要な利用者への対応のため。
	一人暮らしや老老介護の世帯が増えてきている中で、夜間転倒したなどを聞くことが多いため。
栄養士管理指導	事業所がない。
通所介護(入浴のみ)	通所での入浴利用のみを希望する方がいる。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	医療のニーズが必要な方(痰吸引等)がいる。
	認知症による判断力が低下した方がいる。
	難病の方などは、看護師対応の必要な方も多い。
外出サービス	移送サービスや外出支援が充実していれば、公的な支援がなくても生活できる人がいると思われる。

(あきる野市の施設サービスについて)

問13 現在、あきる野市の施設サービス\*の中で、不足していると思うサービスがあれば、サービス名とその理由を記入してください。\*介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び介護医療院のこと

サービス名	理由
措置入所	虐待の恐れがある場合、行く場所がない。
介護療養型医療施設(介護医療院)	コストの安い医療院があれば助かる。
	医療処置があると施設に入れられないため。
軽度者を受け入れてくれる介護老人福祉施設	特例入所は、施設側が入所を敬遠する傾向にある。認知症ではないが、不安が強かったり、筋力低下等により歩行が不安定な方で入所を希望している人が入れない。

## 地域密着型サービスの整備等に関する調査票（結果） （法人向け）

調査数	55
回答数	35
回答率	63.6%

法人種別

医療法人	3
社会福祉法人	10
社団法人	2
株式会社	15
有限会社	2
NPO 法人	1
その他	1
回答なし	1

（事業展開について）

問1 貴法人で提供している介護保険サービスのすべてに○印をつけてください。（複数回答可）

【居宅サービス】		事業所数
1	居宅介護支援、介護予防支援	16
2	訪問介護（総合事業を含む。）	10
3	訪問入浴介護、介護予防訪問入浴介護	2
4	訪問看護、介護予防訪問看護	6
5	訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション	3
6	居宅療養管理指導、介護予防居宅療養管理指導	1
7	通所介護（総合事業を含む。）（デイサービス）	7
8	通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション（デイケア）	2
9	短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）	8
10	短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護（ショートステイ）	1
11	特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム、ケアハウス）	2
12	福祉用具貸与、介護予防福祉用具貸与	5
13	特定福祉用具販売、介護予防特定福祉用具販売	4
【地域密着サービス】		
14	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
15	夜間対応型訪問介護	0
16	地域密着型通所介護	8
17	認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護（デイサービス）	0
18	小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護	1
19	認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	3
20	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
21	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特別養護老人ホーム）	1
22	看護小規模多機能型居宅介護	0
【施設サービス】		
23	介護老人福祉施設	8
24	介護老人保健施設	1
25	介護療養型医療施設	0
26	介護医療院	0

問2 従業員の確保について、伺います。

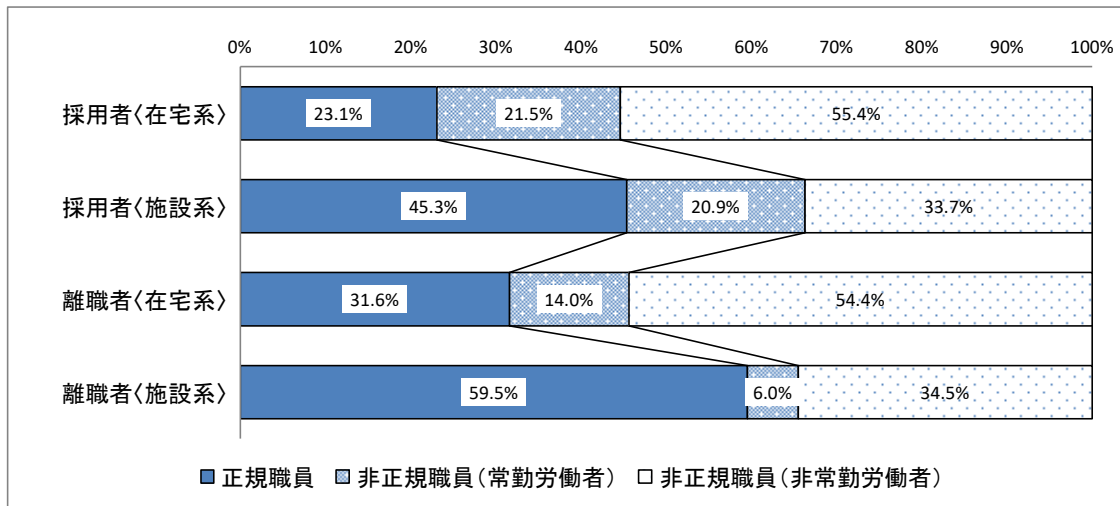
採用者・離職者について、どのような状況ですか。

●採用者及び離職者の人数及び割合（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）

(単位：人)

	正規職員	非正規職員 (常勤労働者)	非正規職員 (非常勤労働者)
採用者〈在宅系〉	15	14	36
採用者〈施設系〉	39	18	29
離職者〈在宅系〉	18	8	31
離職者〈施設系〉	50	5	29

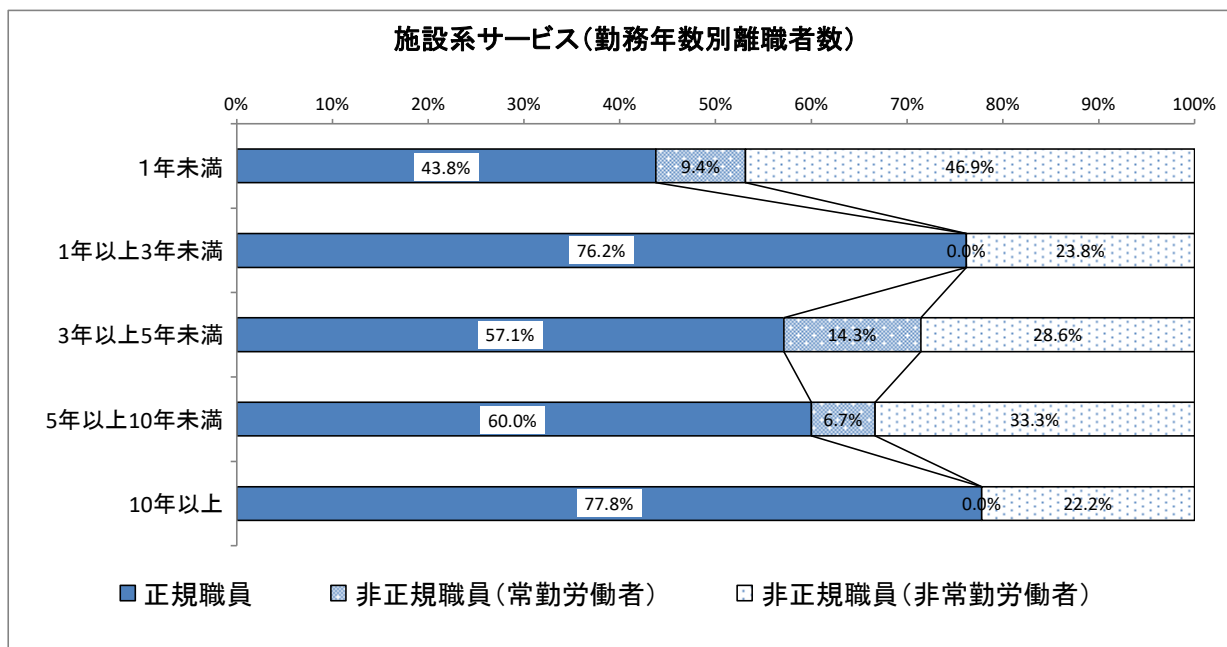
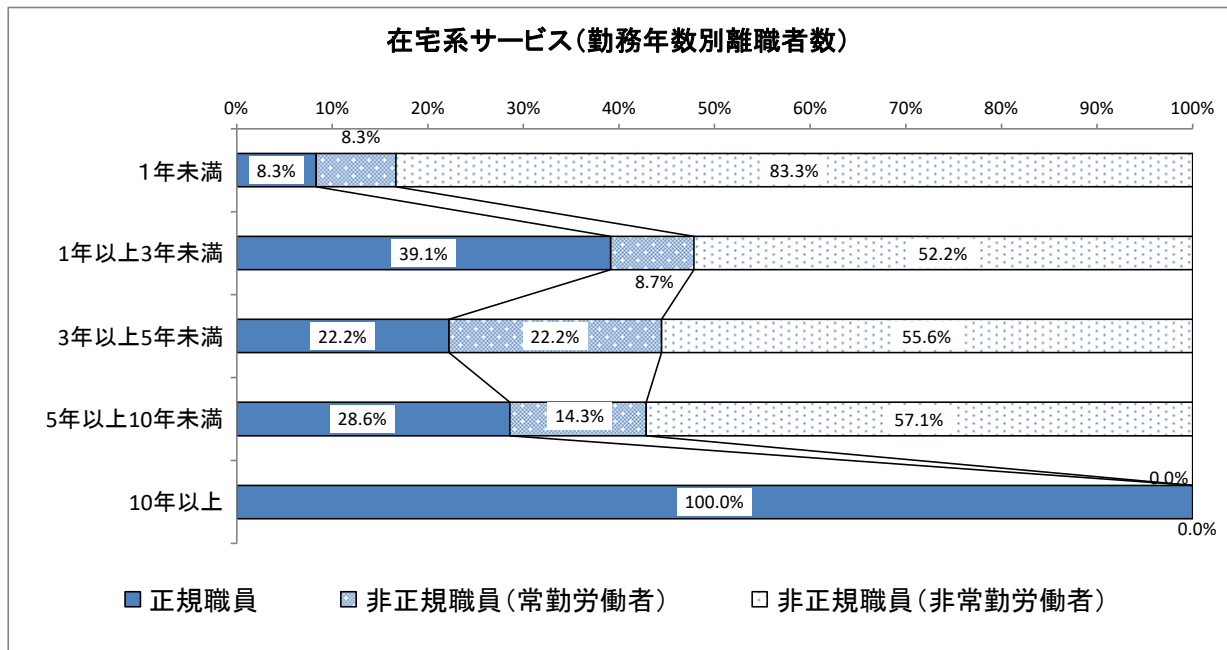
	正規職員	非正規職員 (常勤労働者)	非正規職員 (非常勤労働者)
採用者〈在宅系〉	23.1%	21.5%	55.4%
採用者〈施設系〉	45.3%	20.9%	33.7%
離職者〈在宅系〉	31.6%	14.0%	54.4%
離職者〈施設系〉	59.5%	6.0%	34.5%



● 離職者の勤務年数

	在宅系			施設系		
	正規職員	非正規職員 (常勤労働者)	非正規職員 (非常勤労働者)	正規職員	非正規職員 (常勤労働者)	非正規職員 (非常勤労働者)
1年未満	1	1	10	14	3	15
1年以上3年未満	9	2	12	16	0	5
3年以上5年未満	2	2	5	4	1	2
5年以上10年未満	2	1	4	9	1	5
10年以上	3	0	0	7	0	2

	在宅系			施設系		
	正規職員	非正規職員 (常勤労働者)	非正規職員 (非常勤労働者)	正規職員	非正規職員 (常勤労働者)	非正規職員 (非常勤労働者)
1年未満	8.3%	8.3%	83.3%	43.8%	9.4%	46.9%
1年以上3年未満	39.1%	8.7%	52.2%	76.2%	0.0%	23.8%
3年以上5年未満	22.2%	22.2%	55.6%	57.1%	14.3%	28.6%
5年以上10年未満	28.6%	14.3%	57.1%	60.0%	6.7%	33.3%
10年以上	100.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	22.2%



○人材の過不足の状況について、どのような状況ですか。

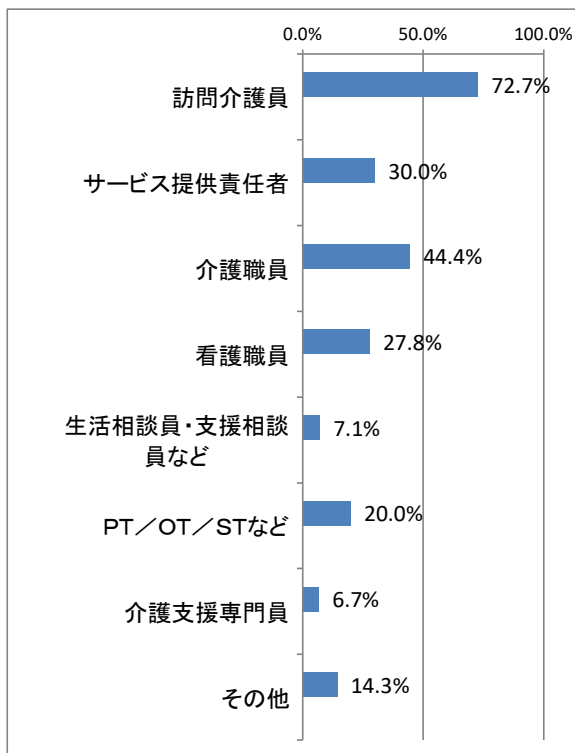
N = 32

(単位：法人)

	不足 (A)	適正 (B)	過剰 (C)	該当職種なし
訪問介護員	8	3	0	21
サービス提供責任者	3	7	0	22
介護職員	8	10	0	14
看護職員	5	13	0	14
生活相談員・支援相談員など	1	13	0	18
PT/OT/STなど	2	8	0	22
介護支援専門員	1	14	0	17
その他	1	6	0	25

### 不足と答えた法人の割合

	不足割合 A / (A + B + C)
訪問介護員	72.7%
サービス提供責任者	30.0%
介護職員	44.4%
看護職員	27.8%
生活相談員・支援相談員など	7.1%
PT/OT/STなど	20.0%
介護支援専門員	6.7%
その他	14.3%



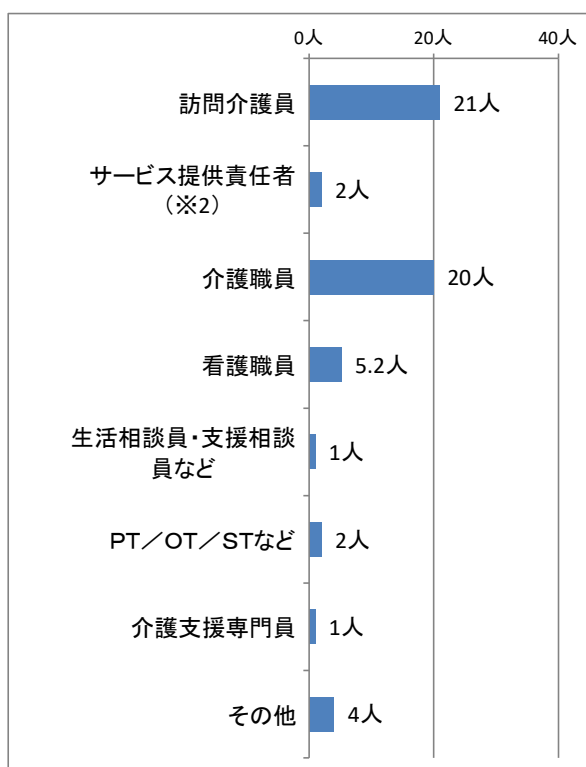
PT：理学療法士

OT：作業療法士

ST：言語聴覚士

### 人員不足と答えた法人数及びその人数

	不足と答えた法人数 (※1)	不足人数
訪問介護員	8法人	21人
サービス提供責任者 (※2)	3法人	2人
介護職員	8法人	20人
看護職員	5法人	5.2人
生活相談員・支援相談員など	1法人	1人
PT/OT/STなど	2法人	2人
介護支援専門員	1法人	1人
その他	1法人	4人



※1 Aの再掲

※2 不足人数が未記入の法人があったため、法人数が不足人数よりも多くなっている。

問3 問2で人材が「不足」と答えた法人にお伺いします。その理由をお答えください。  
(当てはまるもの全てに○)

採用募集に集まらない	13	81.3%
離職率が高い(定着率が低い)	4	25.0%
事業の拡大による不足	1	6.3%
法人内の事業所が多すぎる	0	0.0%
わからない	0	0.0%
その他	4	25.0%

N=16

※複数回答可のため、合計が100%を超えている。

問4 問3で「1 離職率が高い(定着率が低い)」「2 採用募集に集まらない」と答えた法人にお伺いします。その理由をお答えください。(当てはまるもの全てに○)

報酬が低い	9	56.3%
重労働(肉体的・精神的)	7	43.8%
社会的評価が低い	6	37.5%
休暇が取りにくい	4	25.0%
事業所間の引き抜きがある	2	12.5%
キャリアアップが見込めない	1	6.3%
長期雇用への不安が大きい	1	6.3%
労働時間が長い	0	0.0%
夜勤が多い	0	0.0%
わからない	0	0.0%
その他	6	37.5%

N=16

※複数回答可のため、合計が100%を超えている。

問5 貴法人で人材を定着させるために取り組んでいることはありますか。  
(当てはまるもの全てに○)

希望する労働時間の設定	26	74.3%
賃金・労働時間等の労働時間の改善	19	54.3%
従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨	19	54.3%
非正規職員から正規職員への登用の機会の設定	16	45.7%
休暇の取得しやすい体制	15	42.9%
資格・能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇への繁栄	15	42.9%
キャリアに応じた給与体系の整備	15	42.9%
産休・育休・介護休暇などの休暇制度の充実	14	40.0%
メンタルヘルスケアなどの健康管理体制の充実	12	34.3%
休憩室や談話室の設置など職場環境の整備	7	20.0%
特になし	5	14.3%
その他	3	8.6%

N=35

※複数回答可のため、合計が100%を超えている。

問6 貴法人で外国人介護人材の活用をしていますか。  
 (※調査日現在の法人全体の状況を記入ください。)

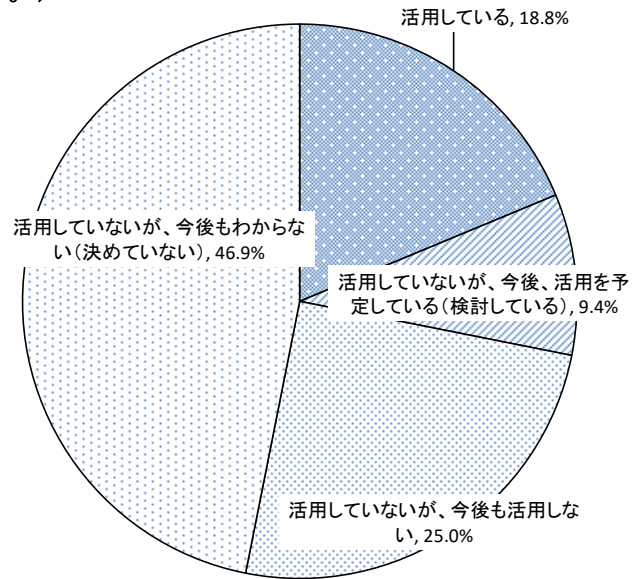
活用している	6法人	18.8%
活用していないが、今後、活用を予定している(検討している)	3法人	9.4%
活用していないが、今後も活用しない	8法人	25.0%
活用していないが、今後もわからない(決めていない)	15法人	46.9%

N=32

採用人数の内訳

在宅系サービス	1法人	4人
施設系サービス	6法人	26人

※外国人を活用している6法人のうち、1法人で在宅系及び施設系の両方で外国人を採用しているため、延べ7法人の集計となっている。



問7 介護人材不足の打開策として、どのような取組が有効であると考えますか。(3つまで)

賃金のアップ	28	84.8%
社会的地位の向上やイメージアップ	18	54.5%
資格取得や能力向上に向けた支援の拡充	13	39.4%
介護労働環境の改善(夜勤の削減、労働時間短縮など)	9	27.3%
福利厚生制度の充実	7	21.2%
長期継続的な雇用の確保	7	21.2%
外国人介護人材の受入れ	7	21.2%
ICTやハイテクロボットの活用	5	15.2%
その他	2	6.1%

N=33

※3つまで回答可のため、合計が100%を超えている。

問8 貴法人では、1年間に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。

人数は確保できているが、質は満足していない	8	25.0%
質・人数ともに確保できていない	7	21.9%
質・人数ともに確保できている	6	18.8%
質には満足であるが、人数を確保できていない	5	15.6%
その他	3	9.4%
わからない	3	9.4%

N=32

(地域密着型サービスの整備の必要性について)

問9 次の地域密着型サービスについて、あきる野市において新たな整備が必要だと思いませんか。

また、それぞれ、その理由についてもお答え下さい。

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(1) 地域密着型通所介護 (定員18人以下の小規模デイサービス)	1. 必要と思う	8
	2. 必要とは思わない	11
	3. わからない	12
	未記入	4
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のニーズをくみ取りやすくなるため。</li> <li>・地域としての資源をお客様がより有効に利用できる。</li> <li>・住み慣れた地域の自宅から近い場所にあるデイサービスには通いやすいため。</li> <li>・あきる野市は、他市に比べると充実していると思うが、事業所によってサービスの質などのばらつきがあり、整備が必要な部分があるのではないかと思う。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・利用者と家族からの要望があると思われるため。</li> <li>・地域に、このサービスの利点大きい。</li> </ul>		
理由(2. 必要とは思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の通所事業所としては、充足されているが、西部地域への整備は、今後必要ではないか考える。</li> <li>・特徴のあるいくつかの施設に利用者が集中している傾向を感じますが、「数を増やす」よりは、その特性を生かせればよいと思う。</li> <li>・現状で供給量が不足しているとは考えていない。(同意見外1件)</li> </ul>		
理由(3. わからない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要を知らない。</li> <li>・ニーズはあると思うし、必要なことだとは思いますが、人材を確保するのが難しい中、箱モノを増やすことが望ましいのかわからない。この近隣地域は、施設が多いのに、これ以上増やすことで、さらに人材確保が難しくなり、継続していくために派遣など、賃金の高い方を雇うことで、現状の施設経営が厳しくなるのではないか。それを考えると、施設整備が必要なかわからない。</li> <li>・利用率など、現状の経営状況がわからないため。</li> </ul>		

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(2) 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	1. 必要と思う	16
	2. 必要とは思わない	9
	3. わからない	8
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業所が少ない。</li> <li>・同居の家族が仕事をしている人も多く、老人ホームよりも抵抗なく利用ができると考えるため。</li> <li>・認知症については、支援の体制や利用者や家族などへの支援を含めて、早急な整備が必要になってくるのではないかと感じる。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・認知症の方が増えているから。</li> <li>・利用者と家族からの要望があると思われるため。</li> <li>・認知症高齢者がますます増えてくる中、認知症に特化した施設の充実が図ればよいと思う。</li> <li>・今後、認知症の方が増えると思うので、山田地区から武蔵五日市駅の間にあるといいと思う。</li> <li>・介護者(介護側)の状況が様々であり、対応の必要性、ニーズは高いと思う。</li> </ul>		
理由(2. 必要とは思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今現在で十分であると思う。</li> <li>・待機者が多少はあるようですが、おおむね需要を満たしていると思う。</li> <li>・利用希望が少ないため。</li> <li>・既存の特養は、少し工夫が必要なので、そのままカバーする形はできないが、対応できるスタイルを考えるべき。</li> <li>・現状(情報で知る限りの待機者数など)では、急いで整備する必要はないと考える。</li> <li>・需要を知らない。</li> </ul>		



地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(3) 認知症対応型通所介護 (認知症高齢者専用のデイサービス)	1. 必要と思う	18
	2. 必要とは思わない	6
	3. わからない	9
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・1か所しかなく、五日市地区の人は利用しづらいため。(同意見、外2件)</li> <li>・認知症については、支援の体制や利用者や家族などへの支援を含めて、早急な整備が必要になってくるのではないかと感じる。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・認知症に特化したデイサービスが整備されると、通所サービスからの移行もスムーズになる。</li> <li>・認知症の高齢者増加が見込まれる中、施設の一つでは選択肢がない。希望しても空きがなければ、利用することもできず、利用者家族が不利益を感じている。</li> <li>・利用者と家族からの要望があると思われるため。</li> <li>・認知症高齢者がますます増えてくる中、認知症に特化した施設の充実が図ればよいと思う。</li> <li>・今後、認知症の方が増えると思うので、山田地区から武蔵五日市駅の間にあるといいと思う。</li> <li>・通所リハビリを利用している認知症の方は、対応が難しい。</li> <li>・認知症の方に対して、支援する側の質の良い環境の在り方を考えると、より一層ニーズは高いと思う。</li> <li>・今、現在の環境を極力変えることなくケアを提供することが肝心であると考え。認知症専門のケアができる在宅サービスは、とても重要な存在となる。</li> <li>・ホーム等への入居費を支払うのが難しい家族が多く、ぎりぎりまで在宅を希望する家族が多い。</li> </ul>		
理由(2. 必要とは思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今現在で十分であると思う。</li> </ul>		
理由(3. わからない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の地域密着型通所介護と異なるニーズがどの程度か不明である。</li> </ul>		

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(4) 地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム)	1. 必要と思う	11
	2. 必要とは思わない	10
	3. わからない	12
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業所が少ない。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・1事業所だけでは少ない。</li> <li>・入所を希望する人は多い。</li> <li>・利用者と家族からの要望があると思われるため。</li> <li>・支援者、介護者からも、必要ニーズは高いと考える。</li> <li>・現在、運営している。</li> </ul>		
理由(2. 必要とは思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今現在で十分であると思う。</li> <li>・近隣他地域にも施設は多く、足りていると思う。</li> <li>・利用希望者が少ないため。</li> <li>・施設としてのベッド準備率は充足していると考える。広域型13施設に、市内住民の入所者及び待機者の現状、今後の人口、高齢者数の予測等を精査した上で、ニーズを判断したほうがいい。</li> <li>・「規模が小さい＝細やかなサービス」とならず、小規模特養のメリットは別にある。しかし、既存の特養、老健が市内に15施設あり、これらの有効利用していく展開を考えるべきである。</li> <li>・運営が困難で、成功事例が少ない。</li> <li>・市内の広域型特養の整備数は、十分すぎるレベルにある。</li> </ul>		
理由(3. わからない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模のため、アットホームな雰囲気はあるが、認知症に特化し、利用者が限られているため。</li> <li>・特養が多いため、小規模はどうかと思う。</li> </ul>		

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(5) 小規模多機能型居宅介護 (通いを中心に随時訪問や泊まりを組合わせて提供するサービス)	1. 必要と思う	17
	2. 必要とは思わない	7
	3. わからない	9
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業所が少ない。</li> <li>・1か所しかなく、五日市地区の人は利用しづらいため。また、既に定員一杯であるため。</li> <li>・まだ、うまく活用しきれていないような印象を受ける。サービスのばらつきや質の確保ができるよう整備が必要なのではと考える。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・1事業所だけでは少ない。</li> <li>・市内に1事業所しかなく、利用者にとっては、慣れ親しんだところに施設があると安心感がある。</li> <li>・利用者と家族からの要望があると思われるため。</li> <li>・ニーズもあり、実際に登録の待機となる時期もある。市内も広いので、五日市地区、中部地区、東部地区に事業所があってもよいのではないかと。</li> <li>・通所されている方の家族に「泊りがあればいいのに」と言われることがある。また、慣れた場所、顔見知りのスタッフがいることは、利用者にとって心強い。</li> <li>・在宅で生活を続けるために、必要なサービスを1つの事業所でマネジメントでき、利用者側の選択肢も広がる。</li> <li>・随時的な対応のできる施設の在り方のニーズは高いと思う。</li> <li>・市内に福祉資源が偏在する傾向をカバーする意味で、市内の不便な場所にこそ必要だが、就業人材確保がより困難であるので、そこは、工夫が必要である。</li> <li>・今後、ニーズが高まると予想できるとともに、市内では東部の1か所しか整備がされていないため、訪問介護、通所介護、短期入所の組み合わせにより、効果的効率的な場面が考えられるため。</li> </ul>		
理由(2. 必要と思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今現在で十分であると思う。</li> <li>・利用希望者が少ないため。</li> <li>・運営が困難で、成功事例が少ない。</li> </ul>		

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(6) 地域密着型特定施設入居者生活介護 (小規模有料老人ホーム)	1. 必要と思う	11
	2. 必要とは思わない	12
	3. わからない	10
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業所が少ない。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・ないよりはあったほうが選択肢が広がる。</li> <li>・入所を希望する人は多い。</li> <li>・利用者と家族からの要望があると思われるため。</li> <li>・あきる野市で立ち上げ、市の財政が豊かになるようにしてはどうか。</li> <li>・できれば市内にあると、いいと思う。高齢化が進み、多様なニーズ・サービスを受け入れるために必要であると思う。</li> <li>・現在、市内にないのであれば、1事業所でもあったほうがいいのではないかと。</li> </ul>		
理由(2. 必要と思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、市内に整備されている地域密着型サービスをよりよくしていくことを優先すべきだと考える。</li> <li>・今現在で十分であると思う。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護や特養があれば、必要ないと思われる。</li> <li>・「規模が小さい＝細やかなサービス」とならず、小規模特養のメリットは別にある。しかし、既存の特養、老健が市内に15施設あり、これらの有効利用していく展開を考えるべき。</li> <li>・運営が困難で、成功事例が少ない。</li> <li>・特養を含む入所系(居住系)施設は十分であると考えられるため。</li> </ul>		
理由(3. わからない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力と必要性を感じない。</li> </ul>		

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(7) 夜間対応型訪問介護 ※定期巡回訪問、随時訪問など組合 わせて提供する夜間の訪問介護	1. 必要と思う	14
	2. 必要とは思わない	6
	3. わからない	13
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間対応に関しての不安を抱えられている方が多いため(介護者含め)。</li> <li>・夜間でもサービスを必要とする方は少なくないと思うが、無理に整備するのも大変なことだと思うので、十分な検討も必要であると思う。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・ないよりはあったほうが選択肢が広がる。</li> <li>・一人暮らし、老老世帯等の夜間が心配なため。</li> <li>・利用者と家族からの要望があるかと思われるため。</li> <li>・単身者も多くいる現状があり、24時間体制があると安心である。</li> <li>・現状サービスの有無や在り方は、市内在住の要介護者の選択肢を著しく狭めている。現状は、市内在宅サービスは、午前7時頃から午後9時頃までの限定サービスが前提となっている環境で、それ以外で、その空白時間を埋めるには、入院又は入所を選択に入れるしかない。当市では、要介護3以上になると家族負担が圧倒的に増える環境となっている。したがって、必要とする優先度は非常に高い。また、事業困難度も高い。</li> <li>・必要であると思うが、現実的に困難であるとする。成功事例が少ない。スタッフ不足も心配である。</li> <li>・多様なニーズに対応するため。</li> <li>・現在、市内にないのであれば、1事業所でもあったほうがいいのではないかと思う。</li> </ul>		
理由(2. 必要とは思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用希望者が少ないため。</li> </ul>		
理由(3. わからない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような方に適したサービスなのかイメージがわからないため。</li> <li>・ニーズがあるのかわからない。</li> <li>・ニーズと事業の継続性のバランスが取れるのか不明(※整備をするのであれば、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を優先すべきと考える。)</li> </ul>		

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護 看護 ※日中・夜間を通じて訪問介護と訪問看護を一体的又は密接に連携し提供	1. 必要と思う	15
	2. 必要とは思わない	5
	3. わからない	13
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ニーズの高い方への夜間対応事業がないため。</li> <li>・夜間でもサービスを必要とする方は少なくないとは思いますが、無理に整備するのも大変なことだと思うので、十分な検討も必要であると思う。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・ないよりはあったほうが選択肢が広がる。</li> <li>・費用面でやや高いが、あると安心できると思う。</li> <li>・利用者と家族からの要望があると思われるため。</li> <li>・介護と看護が一体的にあると家族が安心できるのではないかと。</li> <li>・単身者も多くいる現状があり、24時間体制があると安心である。</li> <li>・現状サービスの有無や在り方は、市内在住の要介護者の選択肢を著しく狭めている。現状は、市内在宅サービスは、午前7時頃から午後9時頃までの限定サービスが前提となっている環境で、それ以外で、その空白時間を埋めるには、入院又は入所を選択に入れるしかない。当市では、要介護3以上になると家族負担が圧倒的に増える環境となっている。したがって、必要とする優先度は非常に高い。また、事業困難度も高い。</li> <li>・必要であると思うが、現実的に困難であると考え。成功事例が少ない。スタッフ不足も心配である。</li> <li>・多様なニーズに対応するため。</li> <li>・現在、市内にないのであれば、1事業所でもあったほうがいいのではないかと。</li> </ul>		
理由(2. 必要とは思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用希望者が少ないため。</li> </ul>		
理由(3. わからない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり利用希望者は多いと思わないため。</li> <li>・ニーズがあるのかわからない。</li> <li>・ニーズと事業の継続性のバランスが取れるのか不明(※整備をするのであれば、夜間対応型訪問介護よりも優先すべきと考える。)</li> </ul>		

地域密着型サービスの種類	必要性の有無	事業所数
(9) 看護小規模多機能型居宅介護 ※小規模多機能型居宅介護のサービスに加え必要に応じて訪問看護を一体的に提供	1. 必要と思う	13
	2. 必要とは思わない	6
	3. わからない	14
	未記入	2
理由(1. 必要と思う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ニーズの高い方への夜間対応事業がないため。</li> <li>・独居で医療処置が必要な人が利用できればいいと思う。</li> <li>・今後高齢者増加のため。</li> <li>・ないよりはあったほうが選択肢が広がる。</li> <li>・利用者と家族からの要望があるかと思われるため。</li> <li>・地域性から、ニーズはあると思う。</li> <li>・現状サービスの有無や在り方は、市内在住の要介護者の選択肢を著しく狭めている。現状は、市内在宅サービスは、午前7時頃から午後9時頃までの限定サービスが前提となっている環境で、それ以外で、その空白時間を埋めるには、入院又は入所を選択に入れるしかない。当市では、要介護3以上になると家族負担が圧倒的に増える環境となっている。したがって、必要とする優先度は非常に高い。また、事業困難度も高い。</li> <li>・多様なニーズに対応するため。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護と同様に今後ニーズの増加が見込まれる。訪問介護・看護、通所介護、短期入所の組み合わせせよとも、効果的・効率的となる場面が考えられる。</li> <li>・現在、市内にないのであれば、1事業所でもあったほうがいいのではないかと。</li> </ul>		
理由(2. 必要とは思わない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の保険料が上がってしまうから。必要最低限のサービスでよい。</li> <li>・利用希望者が少ないため。</li> </ul>		
理由(3. わからない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり利用希望者は多いと思わないため。</li> <li>・ニーズがあるのかわからない。</li> <li>・医療が必要な方の在り方や医療を利用できる機会は、他にも存在するのではないかと思います。</li> </ul>		

(地域密着型サービスの参入意向について)

問10 次の地域密着型サービスについて、貴法人が現段階で、平成31(2019)年度から2020年度まで(第7期)の間と2021年度から2023年度まで(第8期)の間に、新規参入の意向はありますか。

また、それぞれ、その理由についてもお答え下さい。

(1) 地域密着型通所介護		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ型のデイサービスの開設を検討しているため。</li> <li>・運営推進会議において、要望があるため。</li> </ul>
2. ない	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・すでに通所介護を行っており、現状、供給量が不足しているとは考えていない。</li> </ul>
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・今後どうするのかわからない。</li> <li>・今のところ考えていない。</li> <li>・すでに通所介護を行っており、現状、供給量が不足しているとは考えていない。</li> </ul>

(2) 認知症対応型共同生活介護		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・夜勤を伴うサービスへの新規参入は、人の確保の困難度が高い。</li> <li>・現状では、ニーズがないため。</li> <li>・財政面と、現在実施している事業との関連性が薄い。</li> </ul>
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	2	
2. ない	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・現状では、ニーズがないため。</li> <li>・財政面と、現在実施している事業との関連性が薄い。</li> </ul>

(3) 認知症対応型通所介護		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンツーマン対応等のため、人材確保が難しい。</li> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・現状では、ニーズがないため。</li> <li>・すでに通所介護を行っており、参入するメリットが少ない。</li> </ul>
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由

1. ある	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意向はあるが、当社のデイサービスのコンセプトに合うものを検討中である。</li> <li>・前向きに検討すべき事業である。(日勤帯事業は準備しやすい。)</li> </ul>
2. ない	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・今後どうするのかわからない。</li> <li>・今のところ考えていない。</li> <li>・現状では、ニーズがないため。</li> <li>・すでに通所介護を行っており、参入するメリットが少ない。</li> </ul>

(4) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム)		
平成31 (2019) 年度から2020年度 (第7期) にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・施設整備事態が不要であると考えている。</li> </ul>
2021年度から2023年度 (第8期) にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	1	
2. ない	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保が困難であると予測されるため。</li> <li>・施設整備事態が不要であると考えている。</li> </ul>

(5) 小規模多機能型居宅介護		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	1	・現在の事業との関連性があるとともに、これまでの事業実施の経験から、必要性を認識している。
2. ない	31	・人材確保が困難であると予測されるため。 ・事業活動資金収支の状況改善に着手するため。また、人材をしっかりと定着させてからと考えるため。 ・夜勤を伴うサービスへの新規参入は、人の確保の困難度が高い。
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	3	・ニーズもあり待機待ちとなる時期もある。これまでの経験、ノウハウを生かしたい。 ・ニーズがあればチャレンジする準備を整えようと考えている。 ・現在の事業との関連性があるとともに、これまでの事業実施の経験から、必要性を認識している。
2. ない	28	・人材確保が困難であると予測されるため。 ・夜勤を伴うサービスへの新規参入は、人の確保の困難度が高い。

(6) 地域密着型特定施設入居者生活介護 (小規模有料老人ホーム)		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	32	・人材確保が困難であると予測されるため。 ・夜勤を伴うサービスへの新規参入は、人の確保の困難度が高い。 ・施設整備は不要であると考えているため。
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	31	・人材確保が困難であると予測されるため。 ・夜勤を伴うサービスへの新規参入は、人の確保の困難度が高い。 ・施設整備は不要と考えているため。

(7) 夜間対応型訪問介護		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	32	・人材確保が困難であると予測されるため。(同意見外1件) ・管理運営が困難である。 ・現在、実施している事業との関連性が薄いため。
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	1	・新規採用ヘルパーの確保が劇的に改善すれば、参入可能である。
2. ない	30	・人材確保が困難であると予測されるため。 ・管理運営が困難である。 ・現在、実施している事業との関連性が薄いため。

(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	32	・人材確保が困難であると予測されるため。(同意見外1件) ・現在、実施している事業との関連性が薄いため。
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	0	
2. ない	31	・人材確保が困難であると予測されるため。 ・現在、実施している事業との関連性が薄いため。

(9) 看護小規模多機能型居宅介護		
平成31(2019)年度から2020年度(第7期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	1	・現在の事業との関連性があるとともに、これまでの事業実施の経験から、必要性を認識している。
2. ない	31	・人材確保が困難であると予測されるため。(同意見外1件)
2021年度から2023年度(第8期)にかけての参入意向		
有 無	件数	理 由
1. ある	1	・現在の事業との関連性があるとともに、これまでの事業実施の経験から、必要性を認識している。
2. ない	30	・人材確保が困難であると予測されるため。



(地域密着型サービス・総合事業について)

問 1 1 地域密着型サービスや総合事業などについて、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

- ・地域密着型サービスの存在をもう少し行政がPRしないと、単なる迷惑施設になってしまい、運営推進会議等にも悪影響が出てしまう。
- ・趣旨とは違うかもしれないが、認定者の受け皿ばかりについて考えることより、介護認定されていない方が、いつまでも認定されることなく、元気に地域で生活をしていくための仕組みをもっと考えたほうがいいのではないか。子育てしやすいまちなど、テレビでよくやっているが、「高齢者が元気で生活できるまち」があってもよいのではないか。
- ・総合事業は単価が低いため、拡大しにくい。
- ・施設サービスについて、過剰だと思う。5～10年度には、区内からの受入れも減ると考える。(すでに、準備率だけ見ても、多いのではないか)
- ・あきる野市の介護保険サービスや事業は、他市に比べて丁寧で充実していると思う。
- ・「あきる野市の福祉資源」が将来どうあるべきなのか。全体的な構想も理解できない、あるいは知らないため、各事業所の都合優先で計画をしても、地域的な優先順位とのアンバランスや偏在を生む。例え10年単位程度のスパンであっても、検証、見直し、再構築することにより、市内福祉資源の効率的な活用がされると考える。また、市町村レベルの狭い範囲より広げた広域的な視点で、人材育成や地域密着型サービスを考えるべきである。現状は、市周辺部では、隣接市町村と連携する必要を感じる。人材確保も西多摩全域の深刻な課題であり、複数自治体で取り組む必要がある。
- ・あきる野市は、日本で稀な「民生委員とふれあい福祉員」の2本立ての仕組みを持ち、15の特養があり、職員も総数1000人以上いる。誰が中長期の方向性を定めているのか。各機関ばらばらでは、非常にもったいない。
- ・現場主体のケース会議等を増やし、行政との連携を密にして、効率的かつ効果的に対策が行えるようにしたい。
- ・クレームやネグレクト対策の行政連携の場を、さらに確立させてほしい。
- ・地域密着型サービスや総合事業では、あきる野市としての「地域包括ケアシステム」「地域共生社会」の在り方をしっかりと描くことが重要だと考える。既存の事業者を含む資源の強みや特性、地理的環境なども踏まえ、今後の予測を立てながら、目標設定、進捗管理を行わないと、その場しのぎになってしまうと危惧する。その意味では、障がい福祉や児童福祉、子育て支援なども視野に入れる必要がある。

(あきる野市の在宅サービスについて)

問 1 2 現在、あきる野市の在宅サービスの中で、不足していると思うサービスがあれば、サービス名とその理由を記入してください。

サービス名	理由
小規模多機能型居宅介護	現在、1事業所のみで、利用者の待ちが出ていると聞く。また、利用者にとっても利便性が高い。
	24時間、365日利用方法によって、利用者、家族に融通が利くメリットもある。
	家族のニーズはあると思う。
看護小規模多機能型居宅介護	(※理由の記入なし)
認知症対応型通所介護	認知症に特化している。

認知症対応型共同生活介護	待機者もいるため、希望時に入所できない。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	ニーズがあると思われるため。
	一人暮らし、老老世帯の方が多くなってきている。特に、夜間が心配である。
夜間対応型訪問介護	家族のニーズはあると思う。
訪問介護	ヘルパーが少なくて十分なサービスを受けられない方がいる。
	ニーズにあった人材の確保ができない。
体に障害のある車いす生活の方の移動支援	民間タクシー会社の車いす対応車両が少なく、介護タクシーでは料金も高く、気軽な外出ができない。
居宅重度訪問介護	ニーズにあった人材の確保ができない。
市内循環バス	運行本数が少ない。
透析利用者（患者）送迎	実施している医療機関がなく、在宅での生活を困難にしている。医師会に呼び掛けてほしい。
るのバスの充実	交通不便地区の人々は、外出機会の内、歩行範囲を超える地域への外出は少ない。

（あきる野市の施設サービスについて）

問13 現在、あきる野市の施設サービス\*の中で、不足していると思うサービスがあれば、サービス名とその理由を記入してください。※介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び介護医療院のこと

サービス名	理由
介護療養型医療施設	医療処置があり、在宅では厳しい方がいる。施設も、痰の吸引等があると難しい。
介護老人福祉施設	入所待ちの家族の声を聞いたことがある。